

平成22年度 個別支援会議の開催状況(12月)

	年齢	性別	障害種別	開催日	定例・簡易	出席機関														検討事項	結果
						本人	家族	障害福祉サービス事業所				その他福祉関係	医療関係	保健関係	就労関係	児童関係	教育関係	高齢者関係	その他		
								相談支援	訪問系	日中活動系	居住系										
30	16	女	知的	12月1日	定例	○	○(親族)	○	-	-	○	-	○(2)	-	-	○	-	-	-	職業訓練校卒業後、一般就労したが、親代わりの祖母が体調を崩し、自宅での生活が困難になり、一人暮らしも困難であるため、居住の場の支援について検討	GH、CHの見学を行い、本人の意向を確認しながら利用を検討すると同時に、福祉サービスの申請や、祖母が行っていた後見人を叔母に変更する
31	32	男	高次脳機能	12月10日	定例	-	-	○(4)	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	高次脳機能障害で、対人関係トラブルが続く就労が続かない。障害理解も不十分な本人への今後の支援について	本人との関係づくりを行えるキーパーソンの設定と、家族との支援方針の調整を行いながら、現在利用できているケアの支援協力も得ながら、目標を立て支援を行う	
32	63	女	精神	11月18日	簡易	○	○(兄、義姉)	○	-	-	-	-	-	○(3)	-	-	-	-	精神科入院中で、退院に向けての調整を行う。	ケアや訪問看護、ヘルパー等の支援を受けながら生活できるよう、相談支援で調整	
33	52	男	精神	12月1日	簡易	○	○(内縁)	○	-	-	-	-	-	○(3)	-	-	-	-	No10、6月21日開催の方について簡易開催。精神科病院からの退院に向けての具体的な調整	退院後の日中活動にケアを利用し、訪問看護、ヘルパー等利用し相談支援で支援計画を立てる	
34	17	男	知的	12月7日	簡易	○	○	○	-	○(3)	-	-	-	-	-	-	-	○	-	今年度で養護学校卒業のため、今後利用予定の福祉サービス事業所へのスムーズな移行のための調整	本人への対応等情報交換を行い、福祉サービスの申請など滞りなく利用できるように関係者と連携して行っていく
35	18	男	知的	12月17日	簡易	○	○	○	-	○(2)	-	-	-	-	-	-	-	○	-	今年度で養護学校卒業のため、今後利用予定の福祉サービス事業所へのスムーズな移行のための調整	学校での様子、自宅での様子、実習中の事業所での様子について情報交換し、本人への支援方針の確認を行った
36	18	男	知的	12月20日	簡易	-	○(母)	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	今年度で養護学校卒業のため、今後利用予定の福祉サービス事業所へのスムーズな移行のための調整	学校での様子、自宅での様子、実習中の事業所での様子について情報交換し、本人への支援方針の確認を行った
37	17	男	知的	12月21日	簡易	○	○(母)	○	-	○(2)	-	-	-	-	-	-	-	○	-	今年度で養護学校卒業のため、今後利用予定の福祉サービス事業所へのスムーズな移行のための調整	学校での様子、自宅での様子、実習中の事業所での様子について情報交換し、本人への支援方針の確認を行った
38	17	女	知的	12月21日	簡易	○	○(母)	○	○	○(2)	-	-	-	-	-	-	-	○	-	今年度で養護学校卒業のため、今後利用予定の福祉サービス事業所へのスムーズな移行のための調整	学校での様子、自宅での様子、実習中の事業所での様子について情報交換し、本人への支援方針の確認を行った
39	45	女	精神	12月9日	簡易	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	生活リズムが不安定な生活を整えるための支援として、ケアへの通所の促しを制度利用工夫により検討	配食サービスの受け取りをケアにて行うことにより、適切な食事や生活リズムの確保が出来るようにしていく	
40	48	女	精神	12月15日	簡易	-	-	○	○	-	-	-	○(2)	○	-	-	-	○(3)	-	高齢の母と精神障害の本人と2人世帯で金銭管理が不十分、それぞれの関係者も複数あり、支援方針について検討	金銭管理は日常生活自立支援事業にて支援しながら、それぞれの相談担当を明確にし、連携とって支援にあたる
41	48	男	精神	12月20日	簡易	-	○(兄)	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	兄との2人世帯、兄の負担軽減により本人との良好な関係を保てるような方策を検討	ショートステイの利用や、支援者によるフォローを入れていくことで、安定した関係作りを目指す
42	45	女	知的	12月28日	簡易	○	○(母)	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	就労希望があるが「小遣いがほしい」等で動機付けが弱い本人への就労支援について検討	就労系の福祉サービスの利用を検討し、見学等を行っていくこととなった

平成22年度 個別支援会議の開催状況(2月~3月)

No	年齢	性別	障害種別	開催日	定例・簡易	出席機関														検討事項	結果	
						本人	家族	障害福祉サービス事業所				その他福祉関係	医療関係	保健関係	就労関係	児童関係	教育関係	高齢者関係	その他			
								相談支援	訪問系	日中活動系	居住系											その他
56	32	女	精神	3月10日	定例	○	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	精神障害の母、発達障害疑いの長女、発達障害を持つ双子の母子家庭。子の多動などで家庭生活や子育てに困難あり、対応を検討	母の体調が安定するまで家庭でのヘルパー支援や環境調整により母子が負担少なく生活できるよう支援。それぞれにサービスを導入
57	18	男	知的	3月11日	定例	—	—	○	—	—	○	—	○	—	—	○	○	○	—	—	児童養護施設入所、養護学校高等部3年生。卒業後は一般就労、ケアホームでの生活となるため、関係機関で情報共有を行う	各機関からの情報を共有し、本人への対応や今後の見通しについて理解を深めることが出来た
58	4	男	重心	3月1日	定例	○	○	○	—	○	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	母子家庭で母就労しており、本児は歩行獲得目的で1年入所したが歩行獲得はできなかった。母子関係構築のために退所するため、退所後の生活支援について	母の就労と本児の健全な育成のために可能な支援内容を立て関係者で支援していく。養護学校、児童デイ、短期入所等を利用
59	51	男	精神	2月22日	簡易	○	—	○	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—	○	—	No.51の方について、退院が決定したため、対応について再検討	医師から対応について具体的なアドバイスあり。関係機関の連携、情報共有を継続、本人参加で外出が出来ることもわかり、対応について今後も注意しながら支援
60	39	女	精神	2月23日	簡易	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	精神科入院中、退院に向け金銭面の支援やヘルパー、訪問看護の調整を行う	携帯電話の利用が高額になるなどするため固定電話に切り替え、ヘルパー、訪問看護の利用調整、金銭管理の頻度を増やす
61	33	男	知的	2月4日	簡易	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	No.27の方について再検討。作業所を休みがちであるため支援内容の振り返りと再検討	支援者の方針統一と連携の強化、通所を強化できるような好子のアセスメントを行う
62	35	女	精神	3月7日	簡易	—	○ (両親)	○	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	本人から母に対する暴力等で母が自宅から避難。経過の確認と今後のかかり方について検討	母不在になり本人の自立も垣間見えることから、当面様子見
63	31	男	知的	3月25日	簡易	○	○ (伯母)	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	父ガン、自宅は継母とその子で本人と関係不良のため、父不在となると自宅での生活困難。居住の場の確保について	賃貸共同住宅を運営している会社の住居を見学し、今後の方向性を定めていく
64	15	女	身体	3月25日	簡易	—	—	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	—	養護学校中学部を卒業後は進学せず在宅を両親希望。母対人関係困難有。主治医の交代等変化に応じて対応できるよう情報交換	関係機関での連絡調整の仕方を確認。母が願意にしている主治医を中心に見守り支援。

平成23年度 個別支援会議の開催状況(4月~6月)

	年齢	性別	障害種別	開催日	定例・簡易	出席機関														検討事項	結果	
						本人	家族	障害福祉サービス事業所					その他福祉関係	医療関係	保健関係	就労関係	児童関係	教育関係	高齢者関係			その他
								相談支援	訪問系	日中活動系	居住系	その他										
1	9	男	発達	4月1日	定例	—	母	○	○	○(2)	—	—	○	—	—	○	○(2)	—	—	市外に転居するため、これまでの支援者から転居先の支援者への引継ぎ、支援体制の確認	本児に關係する様々な機障が出席できたことにより適切な引継ぎが行えた、	
2	42	女	知的	4月6日	定例	—	両親	○(6)	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	6年前から通所中断で在宅生活。両親への暴力など家庭で対応困難。通所等のサービス利用について。	両親の希望をもとに本人への支援プランを作成。通所や行動援護、短期入所の利用を検討。		
3	20	男	知的	4月13日	定例	—	両親	○(7)	—	○	○	—	—	○	—	—	—	—	父単身赴任、弟が進学で単身生活となり自宅で母と2人の生活となった時点から母への暴力あり。対応について。	母が信頼している大学講師からの助言を元に、環境設定と、服薬調整等を行うこととなった。		
4	18	女	身体・精神	4月20日	定例	—	祖父母、叔父夫婦	○	○	—	—	—	○(2)	○(3)	—	—	○(3)	—	—	父兄からの性的虐待により高校中退後グループホーム利用していたが、トラブルあり、自宅マンションに戻り母と口論の末飛び降り身体障害をおう。退院後の支援について。	母に知的障害あり、家族によるサポートは不十分。妹への虐待の危険もあり、叔母、祖父母、関係機関の協力のもと在宅生活を想定して支援内容を検討。	
5	41	女	身体・療育	4月22日	簡易	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○(3)	○	本人、父に補助人あり。サービス利用など調整のため会議開催。知的障害疑の弟の借金問題について	弟の借金により自宅転居が必要となった。弟の成年後見制度利用と、住宅の確保について支援内容を確認した。		
6	41	女	知的	4月14日	簡易	—	○	○	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	短期入所の利用について	スムーズな利用となるよう関係者で打ち合わせを行った		
7	49	女	精神	4月15日	簡易	○	—	○	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	精神科入院中、退院後の支援について	養母と同居の後単身生活へと移れるプランで支援する。退院後の支援機関について確認。		
8	49	男	精神	4月19日	簡易	○	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	短期入所事業所への送迎について	各機関での送迎が可能か確認を行い利用日を調整、決定した		
9	45	女	精神	4月19日	簡易	○	—	○	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	デイケアでの活動が変化したことによりヘルパー支援の調整の必要があり、本人の希望を元に調整	本人の要望を聞き取りニーズをもとに調整を行った	
10	31	男	知的	4月25日	簡易	—	○	○	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	父がガンのため自宅での生活が困難となりケアホームの体験を始めたが、他利用者への傷害があり、対応について検討	本人のストレスとなっていることを改善。精神科受診を勧める	
11	58	女	精神	5月2日	定例	—	長男・次男	○	○	—	—	—	○(2)	○	○	—	—	○(4)	—	うつ病の本人と高齢の両親の3人世帯。支援は本人が拒否するため十分な生活環境ではない。アプローチや支援内容について検討。	長男、次男に協力を得て、支援の受け入れをスムーズにしてもらい、ヘルパーの導入を進める。	
12	57	男	身体・精神	5月10日	定例	○	兄	○	○(2)	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	中途視覚障害と精神疾患があり、在宅で単身生活を送っていたが精神的に不安定になり入院した。退院後の在宅支援について。	ヘルパー利用を調整し在宅生活。施設やグループホームも検討するため見学等行っていく。	
13	9	男	知的	5月23日	定例	—	母	○(2)	—	○(3)	—	—	○	—	—	—	○	—	—	問題行動について、障害特性に合わせた支援を関係者で協議	各機関の調整役の設定、情報交換を行い、対応について確認した	
14	12	男	知的	5月26日	定例	—	○	○	○	○(7)	—	—	○	—	—	—	—	○	—	利用していた事業所での対応が困難となり放課後支援が安定しない状況。家庭内でも不安定。市内の事業所一同で本児への支援について検討する	新たな児童デイサービスの利用など、放課後や、週末、休暇等のサービス利用について調整	
15	28	男	知的	5月6日	簡易	○	○(母)	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	母と本人の関係不良で母はホテル住まい、自宅は老朽化で処分の予定。今後の暮らしの場について	本人、母ともに不安が強すぎずに変化はないが体験利用するなど今後の生活の変化に備え準備。	

平成23年度 個別支援会議の開催状況（4月～6月）

	年齢	性別	障害種別	開催日	定例・簡易	出席機関														検討事項	結果	
						本人	家族	障害福祉サービス事業所					その他福祉関係	医療関係	保健関係	就労関係	児童関係	教育関係	高齢者関係			その他
								相談支援	訪問系	日中活動系	居住系	その他										
16	55	女	精神	5月6日	簡易	—	—	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—	○	—	夫も精神障害あり、夫婦喧嘩から暴力に発展し本人が自宅で安心して過ごせない。対応について	双方共に暮らす希望があるため、ケンカの原因やストレスを極力避けるため、金銭管理の方法や、精神疾患による特性等を踏まえた対応を検討。
17	17	女	知的	5月8日	簡易	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケアホーム利用し始め4ヶ月程度経ち単身生活の希望あり。現状の確認と今後の方向性について検討	希望をかなえるために、本人に必要な生活スキル（金銭管理）を身につけてもらい、10月に再確認を行う
18	15	男	知的	5月10日	簡易	—	父	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	母体調不良、父勤務不規則により本児の学校への送り出しが出来ず不登校。改善について	母の精神科受診を勧め、それに伴い登校時に移動支援のサービス利用を検討	
19	35	女	精神	5月25日	簡易	—	○	○	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	解離性障害で倒れることあり、ヘルパー対応が困難な面がある。本人の疾患の理解と具体的な対応について検討	本人には知的や自閉傾向あり、障害特性に合わせた支援を行うとともに、医療機関と連携していく
20	47	男	知的	5月20日	簡易	○	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	単身生活での困りごとなど、頻りに妹に話してしまうなどから長期入院となっているが、退院に向けて検討	入院生活では落ち着いている状態、服薬自己管理や外出、外泊等を行い、本人の相談は各相談員で対応
21	29	男	知的	6月1日	定例	—	—	○ (6)	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	市外の知的障害児の施設に年齢超過で入所中。一宮に父あるが同居は困難。地域移行について	区分3であり入所施設は困難。ケアホーム等での受け入れを視野に受け入れ態勢を整える方向。経済面での父の支援必要。次回9月に再会議。
22	3	男	発達	6月3日	定例	—	—	○	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	母から本児に対して虐待を疑わせる発言あり。関係者で家庭へのサポートを検討	各機関での情報交換と役割確認。虐待については、具体的事項の確認は取れないが、関係者での見守り継続。